



森のなかま

2015年5月号

NO. 85号 (継続230号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL 046-280-4101・FAX 046-280-4102

森林再生パートナー様をご紹介します ⑦

今回は鶴岡八幡宮『^{えんじゅ} 槐の会』様です。

(資料御提供: 鶴岡八幡宮『槐の会』様)

^{えんじゅ} 鶴岡八幡宮「槐の会」 ^{えんじゅ} 延寿の森

「槐の会」は鶴岡八幡宮の外郭団体として、日本人が大切にしてきた「こころ」の源流を未来につなぐため、「5つの目標」の達成に向けて様々な活動に取り組んでいます。

水源林での活動は、当会の目標の1つである「自然環境保護活動」の具体的行動として、平成20年より神奈川県で行う水源の森林づくり事業に水源林パートナーとして参加し、現在では毎年春秋各1回程度の活動を行っています。

槐の会のめざす「五つの目標」

1. 日本の伝統文化を守り、こころ豊かな国づくりに寄与します。
2. 未来を担う青少年の健全な育成に努め、明るい社会づくりに貢献します。
3. 郷土の自然を守り、地球環境の保護に貢献します
4. 国際交流活動を推進し、世界平和の実現に寄与します。
5. 会員相互の研鑽を深め、よき日本人としての資質の向上に努めます。



夏休みには青少年育成活動の一端として、このパートナー林「延寿の森」を、鶴岡八幡宮こども会「鶴の子会」が主催する林間学校に自然環境を学ぶフィールドとして提供しております。

また、春秋の森林整備活動で間伐した木材を乾燥させ、その間伐材を利用して環境教育教材を作製し、林間学校の参加者に記念品として贈呈しています。今までに、箸・色鉛筆・バードコール・マグネット・万年カレンダー・物差し・定規などを間伐材でつくり、参加した子どもたちにプレゼントしました。

間伐材で作った万年カレンダー



上: バードコール 下: マグネット



春秋の森林活動では午前と午後でプログラムを分け、午前は重作業と軽作業に分かれて、間伐や径路補修などの林内整備活動を行っています。午後は五感を使った「森林癒し体験」や森の材料を使ったクラフト工作などを行っています。



間伐作業の様子



間伐材を利用して「丸太ベンチ」を作製



森林癒し体験：「ハンモック」で森林浴



お昼には参加者に鹿シチューを振る舞います

やどりき水源林での活動以外にも自然環境保護の意識向上を目的とした写真展「四季の鶴岡八幡宮」を開催しております。この写真展はファインダーを通して境内の風光の素晴らしさを再発見していただくことにより、自然環境保護や伝統文化振興への意識向上を目指す活動です。

また「五つの目標」に基づいた活動以外にも、東日本大震災の復興支援活動を鶴岡八幡宮と連携し、継続しております。特に被災地の復興のその先にある未来を担う「子どもたち」の支援に力を入れて取り組んでいます。

活動の詳細については、下記の「槐の会事務局」までお問い合わせ戴くか、ホームページをご覧ください。



槐の会事務局

〒248-8588 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-31 鶴岡八幡宮社務所内

[TEL] 0467-22-0315 [FAX] 0467-22-4667

[E-mail] enju@hachimangu.or.jp [ホームページ] <http://www.enjunokai.jp>



赤ちゃんと、ともにはぐくむ森づくり



平成26年度 成長の森 植樹会が開催されました

参加人数：232名（内 こども87名）

場所：県立21世紀の森

日：2015年3月14日（土）

天候：曇り時々雨



< 宇田川 祐美恵 13期 >

26年度の植樹場所



杉苗を背負って



家族みんなで植えよう



子どものためにしっかり植えねば



平成26年度「成長の森植樹会」が今年も県立21世紀の森にて開催されました。昨年に引き続き、相模湾を望む見晴らしの良い小高い斜面の、未来を育むイベントに相応しい立地に、神奈川県産無花粉スギの2年生苗が合計1000本植樹されました。

参加者は232名（内子供87名）、赤ちゃんを抱っこされているご家族、お孫さんのために参加された方など、植樹はもちろん、土を掘る作業も鍬の使用も初めてという方が多いにもかかわらず、すぐにコツを掴まれ、沢山の苗を植えてくださいました。植樹後は皆様思い思いに記念撮影などもなされ、タチツボスミレの咲きほこる中、和やかで充実した一日となりました。

また、当日ご参加いただけなかった方の分の苗木も、私達森林インストラクターの手により全て植樹させていただきました。ちょうど植樹が終わる頃、一降りしましたが、これは恵みの雨となり、苗が良く根付くように助けてくれることでしょう。植樹された苗木は、今後下草刈りなどの手入れをされ大切に育てられますので、ご行楽がてらにでも是非、折にふれ森の成長（生長）をお楽しみいただければと思います。

お子様と成長の森、共に健やかなご成長を心よりお祈り申し上げます。



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取り組んでいます。全国で5番目／NPO法人で初めて委嘱されています。

外部の方へのアナウンスと皆さまの参加をお待ちしています！！

要
申
込

『やどりきの森へ行こう！』

新松田駅北口8:30集合。イベント当日は、
水源林ゲート前までバスを利用！
(バス代各自負担：片道620円) ☆＝所要時間目安

5月17日(日)
【夏も近い！ウツギ&動物探し】

水源林では、4月から11種類のウツギが続々と
花を咲かせます。この日は何種類のウツギの花に逢える
でしょうか。運がよければカモシカに逢えるかも！?

☆＝3時間 申込締切...4月30日(木) 定員50名(抽選)

11月28日(土)
【もうすぐ冬！紅葉&動物の痕跡探し】

“リンドウ”咲き誇る「秦野峠“林道”」には様々な
動物の痕跡が。また、スギ・ヒノキ林の幾何学模様や紅葉の
パッチワークは必見！ どんな痕跡が見つかるかな？

☆＝4時間 申込締切...11月12日(木) 定員50名(抽選)

【内容についての問い合わせ先】

公益財団法人 かながわトラストみどり財団 (左ページ参照)

【「やどりきの森へいこう」の申込先】

NPO法人 かながわ森林インストラクターの会

〒243-0014 厚木市旭町1-8-14 グリーン会館

E-mail k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

希望するイベント日時、参加者全員のお名前、
住所、電話番号を記入の上、往復ハガキ、
又はE-mailにてお申し込みください。
締切後、抽選結果ならびに詳細をお送りいたします。

3月20日(日)
【春が来た！ミツマタ&モモンガの棲む森散策】

「やどりき水源林」名物！春を告げるミツマタの群生や
ヤマブキなどを見ながら、森林浴でリフレッシュ！
ムササビやモモンガに逢えるといいな♪

☆＝3時間 申込締切...3月3日(木) 定員50名(抽選)

森林探訪

【共催】NPO法人かながわ森林インストラクターの会

【森林探訪申込先】 往復ハガキにイベント名、参加者全員の氏名・
住所・電話番号・年齢を記入し、〒245-0016 横浜市泉区和泉町
6206-1 グレーシアいずみ野105号 松永 廣まで(☎050-8880-
3465) かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

2015年
5月16日
(土)

9時～15時

会員 500円
一般 1,000円

弘法山「新緑の弘法山を満喫」

【講師】NPO法人かながわ
森林インストラクターの会

【集合】小田急線 秦野駅
南口

【コース】小田急秦野駅南
口公園～浅間山～権現山～
弘法山～吾妻山～鶴巻温泉駅



80人(先着順)
受付:4/1～5/9

9月26日
(土)

8時30分～15時

会員 500円
一般 1,000円

大雄山最乗寺「苔むす樹齢500年の スギ巨木林を訪ねて」

【講師】NPO法人かながわ
森林インストラクターの会

【集合】伊豆箱根鉄道 大雄山駅

【コース】大雄山駅～てんぐのこみち～道了尊～奥ノ院
～ハイキングコース～道了尊(奥ノ院への354段の階段
を登りハイキングコースを歩きます)



80人(先着順) 受付:8/1～9/19

活動短信

今回の掲載は3月7日～4月10日です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミング
で次号以降の掲載になるものもあります。



(無料イラストより)

蟄虫啓戸(3/5～)
(ちっちゅうこをひらく)
啓蟄 初候 ～



鴻雁北(4/10～)
(こうがんきたす)
清明 次候

◆ 小田原市「ふるさとの森づくり運動」の一環
＜植栽活動による森林環境教育＞

日 3月7日(土)、雨

場 小田原市いこいの森地内

参 当初予定 134名(大人67名、子供67名)
⇒ うち2割程欠席

小田原市長 加藤様、駿河会長他

スタッフ 小田原市農政課 太田様他16名、
小田原市森林組合 佐藤健様他

イ L 村井⑨、菊地①、高橋③、渡辺③、松本⑧
大塚⑩、中村⑩、西出⑩

8:30小田原市役所に集合し、マイクロバス6台で市内
各所の参加者と合流し、会場へ向かいました。
開会式は市長と来賓ご挨拶の後、スダジイ(全国植樹祭
の天皇陛下お手播きのスダジイを株分けしたもの)の記
念植樹でイベントが始まりました。

雨で足元が悪いなか、参加した親子は泥汚れも気に
せず一生懸命、クヌギ、ヤマザクラ、イロハモミジ、ヤマ
ブキ、ヤブデマリ等を植えました。

植物の生育には雨も良い恵みとなり、荒れた人口林か
ら里山へと育つ未来を楽しみに、無事イベントを終えまし
た。

(記 大塚 晴子 11期)

◆ 日揮株式会社 パートナー林活動
自然観察ハイキング

(秦野峠方面への林道散策 変更 ⇒ 寄バス停付近)

日 3月7日(土)9:40～11:30、雨

場 寄バス停周辺

参 大人3名 子供2名

イ L 杉崎⑩

当日雨天のため、当初の予定「秦野峠方面への林道
散策」を「寄バス停周辺の散策」に変更する。

参加人数も雨のために当初約15名が10名となり最終
は5名(内子供2名)になる。

5才(男児)と小4(女児)の自然観察大好き兄弟が、咲
き始めたヒメオドリコソウやホトケノザや、ヤマグワ、アジ
サイの冬芽にルーペをかざす。

休耕田の縁にテッポウユリ(?)の残鞘の中に僅かに
残った種子に、息を吹きかけ子孫繁栄の手助けをした
り、雨露にほころんだ蔦の蔓や葉隠れに慎ましく咲くヤ
ブツバキに雨垂れを避けカメラの位置を工夫する。

大きな双眼鏡を胸に、鳥の気配に目や耳を凝らして姿
を追うのは小4のお姉ちゃん。

突然大きな翼を広げ悠々と河原を遡上してゆくアオサ
ギに一同思わず声を上げ感激する。

たぶんこのアオサギは、午後になると水源林の河原を
決まって遡上してくるあの定期便のアオサギじゃないか
な? 思わぬ出会いだ。

また土手上の我々の目前に現れたトビが、足下の河原
に舞い降り、なにやら獲物を掴み、川下へ飛び去って行
く光景や、川霧の切れ間にどこからか悲しげなジョウビタ
キの単調な鳴き声など、晴れた日にもなかなか出会えぬ
バードウォッチングを楽しんだ。

バス停付近の土手のシダレヤナギの芽が寒雨に震え
て見えるが、近づくと柔らかな薄萌葱色にほころびかけ
ている。春は近い。

寒い小雨の中で雨具を着け、傘をさして、清い流れの
水路(旧道)や河原、冬まだ覚めやらぬ野辺に春の息吹
を求めている散策でした。

11:30のバスで松田山の桜まつり(河津桜)に向かう参
加者を見送る。

(記 杉崎 恒三 10期)



◆ 川崎市立日吉小学校 自然観察 (環境を守る)

日 3月10日(月)9:30~13:30、快晴

場 やどりき水源林

参 小学5年生 136名、教師他7名

イ L村井⑨、宮本④、小野⑦、山崎⑦、小沢⑨、
篠原⑨、杉崎⑩、谷川⑪、赤崎⑫、西出⑫、
大原⑬、小川⑬

前日大雨、先生からの問い合わせに、リーダーから水源林機能をお伝えし安心してご参加頂きました。早春の朝、生徒達が勇んで広場にやってきます。インストラクターも皆笑顔で迎え楽しい一日を予感する顔合わせです。

目的は水源林確保、自然林と人工林、保護育成活動等これまで知らなかった事実にあふれることで、自然を見つめ、生活についても考えるきっかけとする場です。先生の指導で希望を「成長の森、林道コース、周遊歩道B」で募り、皆さん良く下調べをしてから参加していました。

一緒に踏査する中で生徒達と一体感が生まれ、森でしか出来ない観察や会話が弾みます。

成長の森で遠く“大島を眺め”喜んだ生徒達、祠参り・沢でヤマアカガエルの鳴き声を“息を詰めて聞いた”Bコース、お札の木“ミツマタに興味津々”だった林道コース、等々盛り沢山の成果でした。

各自持参した昼食会は本日一番の思い出に残ったと思います。河原遊びも喜び一杯で明るい校風を感じました。最後に生徒代表から印象を聞き、班毎にお礼の言葉を頂き無事終了しました。

ゲートでバスをお見送り事故もなく楽しい勉強会になりました。

(記 篠原 光男 9期)

◆ KDDI株式会社 平成26年度成長の森植樹会

日 3月14日(土) 9:00~15:30、曇り時々雨

場 神奈川県立21世紀の森

参 KDDIの皆さん 20名

イ L後藤⑩、愛木⑦

平成26年度成長の森植樹会が、にわか雨のなか県立21世紀の森で開催されました。KDDIの皆さん20名の参加者に、水源林の機能について紹介し、無花粉スギの植樹方法や注意事項の説明・実演を行い、各自に無花粉スギの苗木を3~10本を手渡し植樹していただきました。植樹記念に参加者の名前を記した札を植樹した苗木に掛けて記念撮影をしていましたが、成長の森では、植樹した苗木が運悪く、病害や鹿などの動物の食害で枯れる事象があるため、植樹木への記名はせず、記名板への名前記載にしていることを説明し、理解頂きました。

植樹会の後、植樹されなかった残った苗木をインストラクターや関係者で雨の中、全て植樹しました。

皆さん、大変ご苦勞様でした。

(記 後藤 幸雄 10期)

◆ 日揮株式会社 パートナー林活動 自然観察ハイキング(ミツマタとカワヅザクラ)

日 3月28日(土) 天気 晴れ

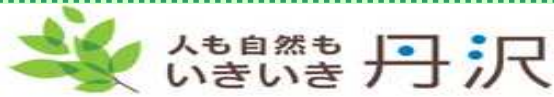
場 やどりき水源林

参 大人12名、子ども2名

イ L赤崎⑫

暖かな陽気の中、早春の自然観察をしました。午前中は、やどりき水源林の林道コースから成長の森へ、ミツマタを鑑賞しにまいりました。ミツマタは満開で、林内に黄色い星の様に咲き、ふんわりと香る様子に感動していただけたようで私も嬉しくなりました。また、当日、開花していたサクラの種類はジュウガツザクラ、フジザクラ(マメザクラ)、カワヅザクラ、ソメイヨシノと数種あり、目にも華やかでした。昼食後は足を延ばして、やどりき水源林から寄バス停まで歩きながら、カワヅザクラを鑑賞しに行きました。途中、野鳥の観察も織り交ぜながら、参加者の皆様と春さがしを楽しみました。今回、単身で活動に当たる事となり、色々と準備をし、緊張しながら担当させていただきましたが、お陰様でとても勉強になり、自身の成長を感じた一日となりました。参加者の皆様、ありがとうございました。

(記 赤崎 さほり 12期)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会の
ホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 富士通MCS(ミッションクリティカルシステムズ)株式会社 春季森林保全活動「はじまりの森」

日 4月4日(土) 9:30~12:00、小雨後曇

場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド

参 掛札様、飯森様、他16名

イ L西出⑫、山崎⑦

時折、霧雨が降り、肌寒い天気でしたが、10時にバスが到着して、10分程歩いた所で記念撮影、道具の配布を行った後、開会式(会社挨拶、インストラクター挨拶・紹介、注意事項の伝達、準備体操)が行われました。その後、2班各9人に別れて、歩いて5分程の現場に移動しました。この頃には雨も上がり、予定通り、10時30分から作業を開始しました。

4、5人の枝打ちの未経験の方がいましたが、ほとんどの方は経験者で、かつ、同じ現場で作業をしたことがあるので順調に進みました。11時30分に作業を終了しましたが、下枝が邪魔になって歩くにも困難だった所が見違えるように整備され、皆さん、結果に満足されている様でした。その後、移動して、道具の手入れを行って、12時にお別れしました。ヒヤリハットはもちろん、怪我一つなく終わる事ができました。

(記 西出 健一 12期)

◆ 日揮株式会社 新入社員研修 やどりき水源林での間伐体験

日 4月10日(金) 10:00~14:40、曇り

場 やどりき水源林の森林

参 102名(新入社員96名、引率6名)

イ L小野⑦、阿部⑧、斎藤⑥、伊藤⑦、渡部⑦、有坂⑧、鈴木⑧、三浦⑧、小沢⑨、水津⑩、小笠原⑩、松山⑩、松本⑪、澤村⑫、西出⑫、小川⑬、藺田⑬、焼尾⑬

前日まで雨が心配されたが、幸い活動中は雨も風もなく暑くもなく、間伐体験には絶好の日よりとなった。

前日に日揮社内で森林の効用、安全確保について講義があったため、この日は簡単な挨拶・準備体操・写真撮影後、新入社員96名(他に引率者6名)を各班6名ずつ

に分け、計16班でBコース径路の上下及び林道終点付近で、12~20cm程度のスギ・ヒノキの間伐を行う。

かなり鋸の扱いに慣れている人・初めての人、足元が滑らないような靴を用意した人・滑る靴で恐る恐るの人等様々な社員がいたが、そして大体が掛かり木になったが、短い時間を若さでカバーし、全員怪我も無く無事に予定の12時10分に倉庫前に戻り、道具の手入れを行った後、水源林を後にした。

彼らを送った後、今回は、安全と時間を守ることが優先ということで、掛かり木のままにして引き上げた3つの班の掛かり木を手分けして処理してから昼食。昼食が終わる頃によりやく雨が降り出した。

今回、気になった点。

1. 特に通称「プリウスの尾根」に、立ち枯れた木が目立った。早い時期に手を打たないと、何かの拍子に落ちてきて怪我をする可能性がある。
2. 葉がついていても、梢の方の幹が中空で、途中で折れたという報告があった。幸い怪我は無かったが、また対応方法も不明だが、こういうこともあり得るということを念頭に置いて作業をしたほうがいいのかもしれない。
3. 4月のこの時期で、暑くもない日だったが、一人ヒルの被害にあった。(外国の方でヒルは英語でなんというのでしょうか?)

(記 阿部 純一 8期)

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付 (できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者

県 (神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字: 期) 研: 研修枠

(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は6月号です。

森のめぐみ シリーズ

やどりき水源林 ミニガイド

4月のトピックス

ミツマタの群落をバックに
森の案内人研修の面々 (4/4(土))



5月の水源林

色々なウツギが真っ盛り。サンコウチョウ、オオルリ等鳥たちも盛んに鳴いています。川にはカジカガエルやオタマジャクシも。
最高の季節がやってきました。

「森の案内人」情報

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時, 1~2時間程度
- 集合: 水源林入口ゲート前
- 内容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ: (公財) かながわトラスティ
みどり財団 TEL: 045-412-2255
FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

●E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

かながわ木づかい運動



開園期間: 5月9日(土) 10:30~17:00
会場: 横浜赤レンガ倉庫1号館
入場無料

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>
松本 保

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037

横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871

小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CCで】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町 3-7

Tel/Fax: 046-825-9281

Mail: 2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★ 若葉が目眩しい季節、命の芽吹きが新しい挑戦を後押ししてくれている気がします。

(赤崎)

★ 拙宅のベランダから高尾山が望めます。年間250万人の老若男女で賑わっていて、これもミュッシュランガイド効果なんですね。すっかり都会のオアシスになりました。

(小川)

★ さわやかな新緑の中を歩くと、とても元気がわいてきます。

(水口)

★ パソコンが故障し、修理にだしているが修復にお金がかかるし、やりとりができないので大変です。(4/26に本人との談話で)

(徳岡)

★ 今月号の一番目の活動短信は啓蟄の頃。言葉遊びには、凝ったものがある。<昼からはちと影もあり雲の峰>の17文字には7種の小さな生物が隠れている。答えは、順に「蛭(ひる)、蚊(か)、蜂(はち)、蜥蜴(とかげ)、蟻(あり)、蜘蛛(くも)、蚕(のみ)」とならぶ。うまく考えるものだが人にはいささかいやな生物だ。

(松本)

◆ 今まで支援して頂いた川森さん⑪が、多忙になり支援ができなくなりました。ありがとうございました。

◇ 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

事務局: 竹島 明

広報部: 小沢章男 水口俊則

徳岡達郎 大塚晴子 赤崎さほり

小池 哉 小川和恵 藺田栄哉

支援 伊藤恭造

第37回 寄自然休養村「若葉まつり」

5月5日(火) 9:30~15:30

寄自然休養村管理センター広場



私たちの会の
普及啓発部も
グッズ販売を行います。

問い合わせ:

松田町観光協会

電話/FAX 0465-85-3130